



日本風景街道登録

銀山街道 陰陽結ぶ 銀の道

ウォーキング & サイクリングマップ



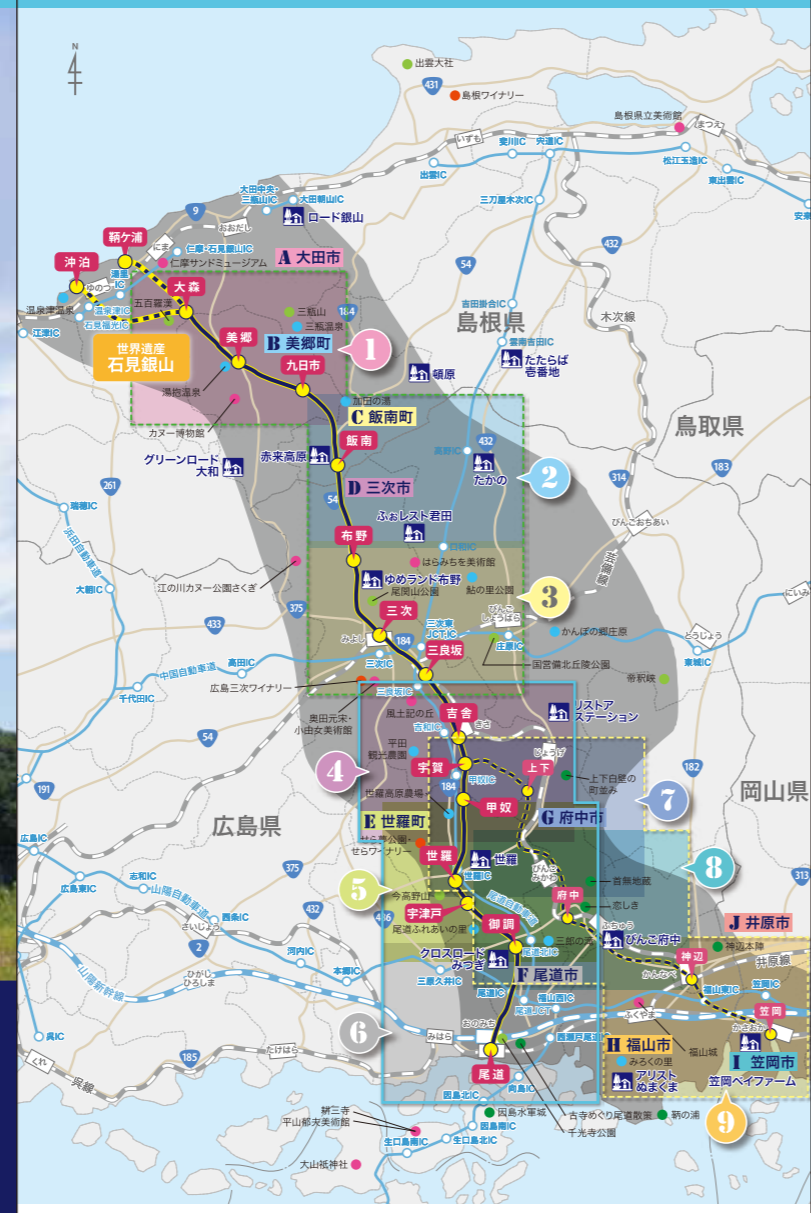
銀山街道沿線市町等連携協議会
銀の道広域連携実行委員会

沿線地域の観光・施設に関するお問合せ

- A 大田市**
(一社)大田市観光協会
☎ 0854-88-9950
- B 美郷町**
美郷町観光協会
☎ 0855-75-1330
- C 飯南町**
(一社)飯南町観光協会
☎ 0854-76-9050
- D 三次市**
(観光情報に関するお問合せ先)
(一社)三次市観光協会
☎ 0824-63-9268
(銀の道に関するお問合せ先)
三次市観光スポーツ交流課
☎ 0824-64-0066
- E 世羅町**
世羅町商工観光課
☎ 0847-22-3216
- F 尾道市**
尾道市観光課
☎ 0848-38-9184
- G 府中市**
府中市観光協会
☎ 0847-43-7135
- H 福山市**
福山市観光課
☎ 084-928-1042
- I 笠岡市**
笠岡市観光連盟
☎ 0865-69-2147
- J 井原市**
井原市地域創生課
☎ 0866-62-8850

銀の道とは・・・
現在の島根県大田市の石見銀山の中心地であった大森から、銀や鉱石を港に運ぶために利用されていた旧街道のことを言います。「銀の道」には、大森から日本海へ抜ける道と瀬戸内海へ抜ける道とがあります。日本海へ抜ける道は、「瀬ヶ浦道」と「温泉津沖泊道」、瀬戸内海へ抜ける道は灰吹銀を運んだ「尾道道」と運上銀を運んだ「上下・府中・福山道」がありました。大森から尾道の港へは、暮まで、牛馬300頭と人足400人という大輸送隊が3泊4日の行程で銀を運んでいたといわれています。

この事業は(一社)中国建設弘済会の助成を受けています。



〈凡 例〉

- 石見銀山街道
- 幹線国道
- JR在来線
- 新幹線
- 高速自動車道
- 道の駅
- 銀山街道エリア
- 癒す・遊ぶ
- 買う・食べる
- 見る
- 学ぶ・体験
- 歴史

A 大田市 世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」	E 世羅町 さまざまな花が咲き誇る広大な花観光農園	H 福山市 江戸時代からの町並みの残る港町「瀬の浦」
B 美郷町 雄大な江の川と中国山地の豊かな自然	F 尾道市 「箱庭的都市」尾道のまち並み	I 笠岡市 穏やかな海を歩く笠岡諸島の島めぐり
C 飯南町 「日本一大しめ縄の町」大しめ縄創作館	G 府中市 明治創業の旅館をリノベーション「恋しき」	J 井原市 近代木彫刻界の巨匠田中美術館
D 三次市 約450年以上の伝統を誇る三次の鞆餅		

拠点スポットのご紹介

ご注意ください！
運行本数が少ない区間もございます。必ず事前に時間をお調べの上、お出かけください。

三次 MIYOSHI

拠点スポット: 辻村寿三郎人形館 (三次市歴史民俗資料館)

17km

三次駅 徒歩 35分
JR 福塩線
吉舎駅

アクセス: JR 三次駅から徒歩 20分
三次小学校前バス停下車 徒歩 5分
JR 三次駅からバス有り
中国やまなみ街道 三次東 IC から 10分

周辺スポット: 尾関山公園、風源寺

吉舎 KISA

拠点スポット: 吉舎ふるさとプラザ Xa104

22km

吉舎中学校前
中国バス 三次甲山線 30分
甲山営業所

アクセス: JR 吉舎駅から徒歩 20分
吉舎中学校前バス停下車 徒歩 5分
JR 三次駅からバス有り
中国やまなみ街道 吉舎 IC から 3分

周辺スポット: 美術館 あーとあい・きさ (吉舎歴史民俗資料館)、とみしの里

世羅 SERA

拠点スポット: 大田庄歴史館

15km

甲山営業所
中国バス 尾道甲山線 25分
クロスロードみつぎ

アクセス: 中国バス甲山営業所下車 徒歩 5分
尾道駅・三原駅・広島 BC などからバス有り
中国やまなみ街道 世羅 IC から 5分
駐車場は、歴史館西側の町営無料駐車場をご利用ください

周辺スポット: 甲山いきいき村、道の駅世羅

御調 MITSUGI

拠点スポット: 道の駅「クロスロードみつぎ」

17km

クロスロードみつぎ
中国バス 尾道御調線 40分
JR 尾道駅前

アクセス: クロスロードみつぎバス停下車
尾道駅・福山駅・広島 BC などからバス有り
中国やまなみ街道 尾道北 IC より 5分
長時間の駐車は隣接の町営無料支所をご利用ください

周辺スポット: 天然温泉 尾道ふれあいの里、円錐勝三 彫刻美術館

尾道 ONOMICHI

拠点スポット: JR 尾道駅

中国やまなみ街道 尾道自動車道・松江自動車道 E54

尾道北 IC ~ 三刀屋木次 IC 間 通行料無料

尾道 JCT~三次東 JCT: 約 45分
三次東 JCT~宍道 JCT: 約 65分

本線にガソリンスタンドはありません。給油を済ませてからご利用ください。

周辺スポット: 千光寺公園、瀬戸内しまなみ海道

公共交通機関情報

上記以外にもご利用いただける手段があります。JR 福塩線の途中駅もご利用いただけます

三次: 三次駅 35分

吉舎: 吉舎駅 35分

甲奴: 甲奴駅前 25分

甲奴: 甲奴駅前 25分

高速バス: 高速バス ビースライナー 25分

甲山営業所

中国やまなみ街道

尾道自動車道・松江自動車道 E54

尾道北 IC ~ 三刀屋木次 IC 間 通行料無料

尾道 JCT~三次東 JCT: 約 45分
三次東 JCT~宍道 JCT: 約 65分

本線にガソリンスタンドはありません。給油を済ませてからご利用ください。

宍道 JCT	山陰自動車道
三刀屋木次 IC	中国自動車道
三次 IC	三次東 IC・JCT
三良坂 IC	吉舎 IC
甲奴 IC	世羅 IC
尾道北 IC	尾道 JCT
尾道 IC	尾道 JCT

無料区間 (赤線)
有料区間 (緑線)



1 砂田木徳堂と古道
砂田の木徳堂に古道がそのまま残っている。この辻堂の梁などには、江戸時代のお店の宣伝書きが残っており興味深い。



6 世良八幡神社
世羅郡の宗社と言われ、銀の道に面している。鎌倉時代の古文書に「世良彦社」という記述があり、古くから鎮座していた。



道幅7尺(約2.2m)の江戸時代の古道がそのままの形で残っている。街道はここから山の尾根道を下り、御調町公文へ向かう。



2 もみの木の日本回国塔
回国塔は巡礼者が諸国をめぐる際、奉仕作業として建てたもの。「右みはら・左おのみち」(1816)と彫られている。



6 宇津戸常夜灯
かつての宿場町が残る街並みの旧国道沿いにある常夜灯。道は宇津戸の街の中心である観音寺に向かっていている。



10 公文の辻堂・常夜灯
耕地整理による移転があったと思われる所に、辻堂と常夜灯が建っている。かつては、この辺りに街道が通っていたと思われる。



3 赤屋神社
創建時期は不明だが、鎌倉時代の終わり頃にはあったと推察される。社叢は昭和26年に広島県の天然記念物に指定されている。



7 観音寺の道標
宇津戸には、かつての宿場町らしい景観が残る。観音寺の前に石州街道を示す道標が建っている。



11 高尾の辻堂
今でも道行く人の休憩場所として、充分使えそうな立派な辻堂。屋根の中心に仏式霊廟の宝珠露盤のような装飾がほどこされている。



4 今高野山総門(仁王門)
「今高野山」の総門として室町時代に建立された。門をくぐって右手にお銀蔵があったとされる。



8 姥石
1309年、庄園が領家分と地頭分と分けられた。その境となった所に「姥石」と呼ばれる境界石が残っている。

凡例

銀の道	銀の道(サイクリング)
主な施設	拠点スポット
駐車場・駐車可能場所	トイレ(車いす可)
トイレ	レストラン・食堂
道標・石碑	

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有り。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。
「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

5

世羅 ▶ 御調

銀の道 Walking & Cycling

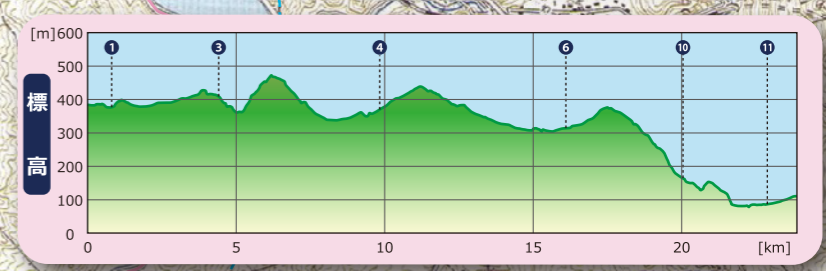
庄園の歴史と古寺の伝承、
ロマンあふれる街道をゆく。



路上にて

駅伝と梨の町・世羅でスッキリ! ☆

「甲山いきいき村」で、ポップなラベルの飲み物を見つけた。その名も「世羅っとした梨 ランニングウォーター」。駅伝の名門、広島県立世羅高校の生徒たちがネーミングやラベル、味などをプロデュースして共同開発したという。お店の方によると、「スッキリとした飲み口で汗をかけた後にピッタリ」とのことです。売れ行きも好調という。売上の一部は世羅高校の陸上部後援会に寄付されている。地域の人たちの世羅高校に対する思いも詰まった一品だ。



天然温泉尾道ふれあいの里
圓錐勝三彫刻美術館
道の駅「クロスロードみつき」

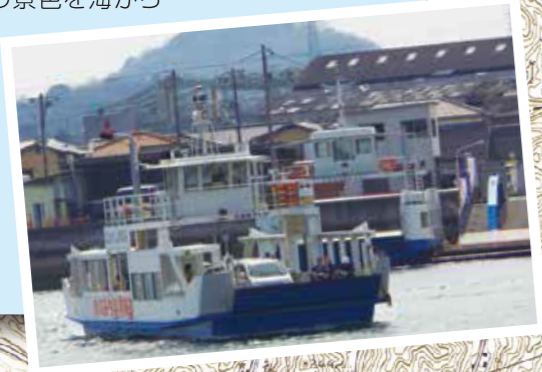
御調

0 1,000 2,000 3,000m

6
御調 尾道
銀の道
Walking & Cycling

中世・近世の遺跡を残す、
風光明媚な港町に到る。

銀の道の終わりは、海の道の始まり。
35里(140km)に及ぶ「銀の道」は、尾道で終点を迎える。と同時に、尾道は「しまなみ海道」のスタート地点でもある。尾道水道を眺めると対岸の向島まで渡船が行き交うのが見える。尾道と向島の間に架かる「尾道大橋」には歩道が無いため、自転車や歩行者は渡船を使うのが一般的。ほんの数分だが、坂の町・尾道の景色を海から眺める船旅もなかなか新鮮。しまなみ海道のサイクリングコースには、道の端にブルーラインが引かれており、今治までのルート案内している。



⑦ 長江の道標
⑧ 豊問屋
⑨ 丹花小路
⑩ 尾道の本陣跡
⑪ 出雲大社道起点の碑

① 東畑の古道
国道184号線の東側の山の斜面を通り、市(いち)から畑(はた)へと向かう古道。途中に一里塚跡がある。

③ 身代わり地蔵
尾道市内各所にこうした辻堂が残っており、四つ堂とも呼ばれている。この室内には、身代わり地蔵が安置されている。

⑤ 三成の常夜灯
道沿いに建っている常夜灯。その足元の石には、願事を唱えながら石棒でたたいた痕が残っており、「杯状穴」と呼ばれている。

⑦ 長江の道標
街道は県道363号から東よりの通りに入る。ここは豊問屋街となっており、かた隅に出雲街道を示す道標が残っている。

⑨ 丹花小路(たんがしやうじ)
銀の道はここでJR山陽本線で分断され、線路の南側では丹花小路と呼ばれる狭い道となる。小路沿いには常夜灯も残っている。

⑪ 出雲大社道起点の碑
街道に残された出雲大社道の起点を示す碑。尾道から出雲大社を目指す旅人の起点となる場所である。

② 市原の辻堂・常夜灯
市原の道沿いに辻堂と常夜灯が建っている。1860年に建てられた常夜灯は「尾道石工」の手によるもので、上に狛犬が載っている。

④ 三成の六地蔵
周辺の様々な古石塔、五輪塔を集め祀っている。中世には、この近くに生活の場があり、墓地もあったことが想像される。

⑥ 馬小屋跡
かつて、街道沿いには乗換用の馬が用意されており、その馬小屋と思われる建物がここにあった。現在は駐車場となっている。

⑧ 豊問屋
県道363号より東に一本入った通りに、豊問屋街の名残をとどめている建物がある。今はここだけが往時の面影を残している。

⑩ 尾道の本陣跡
輸送隊を率いた代官所役人が宿泊した本陣(笠岡屋)跡には、今でも立派な礎石が残っている。銀はここから船で積み出されたと思われる。

⑫ 住吉神社
当時とは社の向きが違うが、今も昔も海の安全を見守っている。銀を積んだ船もここで安全を祈願したところだろう。

尾道 尾道大橋 観光バス駐車場 尾道市役所 尾道観光協会 しまなみ交流館 JR尾道駅 向島

凡例

- 銀の道
- 銀の道(サイクリング)
- 主な施設
- 駐車場・駐車可能場所
- トイレ
- トイレ(車いす可)
- レストラン・食堂
- 拠点スポット

銀の道(青い線)の一部は、時期によっては草木の生い茂る箇所も有ります。通行が困難な場合は、「銀の道(サイクリング)」ルートをご利用ください。
「銀の道」の大部分は地域の皆さんの生活道路です。交通法規を守り、迷惑運転にならない様、注意して運転してください。

この地図は、国土地理院の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。承認番号、平30情推第575号